



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば 「定年後やることはありません」 **理事 佐立弘臣**
 上記は朝日新聞の「悩みのるつぼ」に掲載されたタイトルである。相談者は 59 歳の男性。子供はみな家を出て、妻と二人暮らし、定年後の生活費はなんとかやっつけていけそうだが、趣味もなく定年後の 20 年近く何をすればいいのでしょうかと問う。回答者は井伏鱒二の小説「山椒魚」から岩屋で生育し出られなくなった山椒魚と同じに相談者も一生懸命働き会社と言う「岩屋」から出られなくなってしまったのではと。問題は定年後に「することがない」ことにあるのではなく、定年を迎えると終わってしまう「表面的な人間関係しかない事にあるのではないかと指摘し、会社以外で新たな人間関係を作るのは難しいので、まずは会社の同期や先輩、学校の同窓生とじっくり話してみる。同じ境遇にある人の人生と謙虚に向き合うことで、新たな人間関係や、することが見えてくるのではないかと答える。周りに同じような悩みを持っている方が沢山いるという。現在、団塊の世代の多くの方々が定年を迎え同じような悩みをもっているのではと、この相談を取り上げたのであろう。最近このような相談を多く受けることがある。
 SEF での活動を通じ、新たな人間関係が生まれ、定年後やる事が見えてくればと思う。

6 月度理事会/第 11 回通常総会/臨時理事会 (06 月 12 日)	
<p><6 月度理事会(第 122 回)></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年度事業計画/書面審議・承認 2. 平成 25 年度予算案の件/審議・承認 3. 会計・総務担当業務委託費の件/審議・承認 4. SEF 運用規定一部修正の件/審議・次回審議 5. 第 11 回通常総会開催の件/審議・承認 6. SEF だより執筆者リスト/報告・了承 7. 正会員・準会員資格表の件/報告・了承 8. 平成 25 年 5 月度会計収支報告/報告・了承 	<p><第 11 回通常総会></p> <p>第 1 号議案 平成 24 年度事業報告、収支決算、財産目録/承認</p> <p>第 2 号議案 平成 25 年度事業計画、収支予算/承認</p> <p>第 3 号議案 役員改選の件 新役員 長本、眞鍋、丹治 3 氏/承認</p> <p><臨時理事会></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長。専務理事 新家、黒山両氏再任/承認 2. 新体制/審議・承認

事業報告 「教育・研修事業部報告」 **担当役員 重富理事**
 教育・研修事業部の今年度の運営方針として1) 事業開拓チームとの密なる連携2) 今までの経験・実績を整理して活用3) 他の NPO や類似機関との連携4) 公共機関の活用等によって事業機会の発掘・拡大、案件の具体化を図っていくこととした。具体的な案件としては、某企業の海外子会社の外国人従業員に日本式社員教育を実施する案件とか公的な求職支援制度を利用した人材育成支援事業とかが浮上している。また他の事業部案件で SEF には外国語・地域に堪能な会員が多くいることが判明したので、この利点を活用して日本企業の海外進出・グローバル化を支援していく業務の具体化を図りたいと考えている。今期これらにより教育・研修事業のさらなる発展を期している。

SEF サロン 第 77 回 案内 **担当役員 白崎理事**
 6 月の SEF サロンはお休みで、次回のサロンは下記の通り 7 月に第 77 回を開催予定です。
 日時: 2013 年 7 月 24 日(水) 18 時 場所: 青学会館内・レストラン「フィリア」
 講師: 有馬龍夫氏 中東調査会理事長、元駐ドイツ大使、日本国政府代表、中東和平問題担当特使
 演題: 「日米安保条約と抑止力」
 永年、日本外交の中枢でご活躍の有馬龍夫氏のご講演です。氏はハーバード大学卒業後、博士号を取られ、同大学助手、講師を務められた後、外務省に入省されました。そのご経歴が示すような氏の広範なご経験を踏まえて、日本の外交の中心課題である日米関係についての貴重なお話です。この機会を逃さず是非ご参加ください。

7 月度会員動向	
<p>会員入退会</p> <p>正会員入退会 無し</p> <p>準会員入退会 無し</p>	<p>6 月末現在の会員数</p> <p>正会員-30 名 準会員-33 名</p> <p>賛助会員-2 社</p>